

塩原自然研究路：ビジターセンターまたは畑下温泉から新湯温泉神社まで

オプション 1：ビジターセンター起点経由

オプション 2：畑下起点経由

オプション 3：荒湯－富士経由（大沼の先を北方面にまわるルート）

オプション 4：ヨシ沼経由（大沼の先を南方面にまわるルート）

行程： 新湯－富士ルート：8.0 km

ヨシ沼ルート：7.5 km

所要時間： 新湯－富士ルート：270 分（片道）

ヨシ沼ルート：240 分（片道）

最寄りのバス停：

- ビジターセンター起点：七ツ岩吊橋。吊り橋を渡って川を越え、ビジターセンターへ。
- 畑下温泉起点：塩原門前または塩原畑下のいずれかの停留所。
- 新湯温泉神社終点：直行バスなし。塩原温泉バスターミナルからタクシーで約 20 分。

コース概要：

塩原自然研究路は、1958 年に日本政府により指定された、第一号の自然研究路である。8 キロメートルのハイキングコースには、二つの起点がある。一つはビジターセンターで、もう一つは畑下温泉である。この 2 のルートはやがて一本道になり、大沼まで続く。そして大沼から再び道が別れ、両ルートとも新湯温泉神社が終点となる。北に向かう新湯－富士ルートは、難易度中級のコースで、富士山（1,180 m）を登る。南に向かうヨシ沼ルートは、ヨシ沼の周囲を廻る容易なコースである。両ルートは同じ地点から始まり、同じ地点で終わる。また、この 2 つのルートを組み合わせて、大沼周回ルートとして知られているコースにすることもできる。

見どころ：

須巻富士（畑下起点からアクセス可能）

須巻富士（710 m）は、畑下を起点とするルート上にある丘陵であり、2つのコースの合流点からさほど遠くない場所に位置している。山頂には、仏教の五大明王の一人である不動明王の像がある。山頂への急な階段のふもとには、須巻富士山公園がある。この公園には、アカマツの巨木や、コナラを含むさまざまな種類のナラの木がある。

小太郎ヶ淵（小太郎の淵）（ビジターセンター起点からアクセス可能）

連続して現れる、低く幅の広い滝と苔で覆われた岩がこの場所の特徴であり、コース沿いにある人気の休憩所である。小太郎の淵という名前は、不運だった16世紀の塩原の領主、小山小太郎に因んでつけられたものである。小太郎は、かなり高い所から急流に身を投げたと言われている、彼の死を取り巻く言い伝えによると、父親の敵討を企てるも失敗したことや、父親の暗殺者の娘との禁じられた恋愛のもつれがあったと言われている。

新湯温泉神社（両ルートの終点）

木造の神殿には、1518年に伝染病の収束を願って奉納された石塔がある。それは、彫刻が施された石灯籠のように見える。塔は1958年に重要文化財に指定された。